

「ひょうご農林水産ビジョン2030」のPR動画の作成

1 趣旨

「ひょうご農林水産ビジョン2030」の実現に向け、農林漁業者はもとより、関係機関・団体、行政等が連携してそれぞれの役割を果たし、広く県民の理解と協力を得ることを目的に、ビジョンの「めざす姿」をわかりやすく伝える動画を作成する。

【参考】

コロナ禍の中で東京から地方への移住、テレワークや副業等、今まで出来なかった事が出来るようになってきており、若い人も農業を始めている。この追い風に乗れ、様々な機関と連携して新たなビジョン 2030 をPRしてほしい。ビジョンをPRするツールを作っても良いと思う。

※前期の審議会第4回総会(令和2年12月16日) 会長とりまとめ意見

2 作成方法

企画・制作会社に業務を委託(企画提案コンペ方式)

① 受託会社 株式会社SASI(代表取締役 近藤清人) 宝塚市仁川北3丁目6-3

② 委託期間 令和3年12月24日～令和4年2月28日

3 内容

(1) 企画

動画で伝える対象は、主に10代後半～20代の年齢層とし、6分野(農業、畜産業、林業、水産業、スタートアップ、地域・暮らし)の現場取材を行い、3タイプ(①研修会用 15分程度、②動画共有サイト用 2～3分程度、③広報利用 15～30秒程度)の動画に編集して制作。

(2) 現地取材先

区分	取材先	地域	取材内容(案)
農業	(株)池上農場 代表取締役 齋藤亜紀美氏	淡路	福島県からUターン就農。土づくりを基本に慣行栽培より化学農薬を5割以上削減したたまねぎは <u>県認証食品</u> を受証。
	(株)坪口農事未来研究所 代表取締役 平峰英子氏	但馬	Uターン就農。IoTセンサーを活用した水田管理や <u>コウノトリ育む農法</u> による有機栽培等を実践。
畜産業	田中畜産 田中一馬氏	但馬	経産牛を耕作放棄地の山林に放牧し、 <u>飼料費、労働力の節減</u> にもつながる <u>持続可能な循環型経営</u> 。
	弓削牧場 弓削忠生氏	神戸	家畜排泄物等を活用したメタンガス精製、 <u>消化液</u> を使った山田錦の <u>有機栽培</u> や酒造業等との地域連携。
林業	(株)グリーン興産 代表取締役 石原淳平氏	西播磨	苗木の育苗から、保育、間伐、伐採、木材の運搬までをトータルに行う <u>資源循環型林業</u> を実践。
水産業	明石浦漁業協同組合 組合長 戎本裕明氏	東播磨	豊かな海づくりに向け、海底耕うんの取組や、活け締めによる鮮度保持等、魚価向上の取組と資源管理を実施。
スタートアップ	(株)みたて 代表取締役 庄司英生氏	北播磨	<u>生産者や蔵元等と連携</u> し、日本酒を中心に文化を「旅するように」体験できる <u>オンラインツアー商品</u> を開発。
地域	(一社)ノオト 代表理事 伊藤清花氏	丹波	<u>再生した古民家</u> を活用し、地域の暮らし・文化を体験する <u>ツーリズム</u> を展開(農泊)。

【参考】

ビジョンを見た時に、一番関心を持つのは、「地域の農業を支え合う持続可能な協働体制の確立」と「『農』と多様な分野との連携」。特に、若い世代への働きかけが大切である。若い世代は、食料安全保障などの地球規模の様々な課題にかかる関心が高い。

※今期の審議会第1回総会(令和3年11月22日) 委員からの意見